

2012年3月期 第2四半期 決算補足資料

1. 決算概観	P.1
2. 第2四半期 業績のポイント	P.2
3. 第2四半期 業績の状況(対前年・対予想)	P.3～P.4
4. 主要製品売上の状況	P.5
5. 主な子会社の業績と予想	P.6
6. 第2四半期 業績と予想	P.7
7. 研究開発費・設備投資・減価償却費の状況	P.8
8. 開発品一覧	P.9～11
【参考資料】	
9. セグメント情報	P.13
10. 損益計算書の概要	P.14～15
11. 貸借対照表の概要	P.16
12. 主な業績項目の推移(連結)	P.17
13. 杏林製薬資料	P.18～21

2011年11月8日

キョーリン製薬ホールディングス株式会社

本資料に記載されている業績予想等は、現時点で入手可能な情報により判断した予想であり、将来の業績に影響を与える不確実な要因やリスクが含まれています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。



2012年3月期 第2四半期 決算概観(連結)

(単位:百万円)

	09年3月期 第2四半期	10年3月期 第2四半期	11年3月期 第2四半期	12年3月期 第2四半期	前年比	12年3月期 (修正予想)	前年比	12年3月期 (当初予想)	前年比
売上高	40,261	45,714	46,707	46,387	0.7%減	105,100	1.0%増	106,500	2.3%増
営業利益	1,243	4,569	4,201	4,900	16.6%増	14,900	9.4%減	16,600	1.0%増
経常利益	1,175	5,172	4,542	5,253	15.7%増	15,600	8.8%減	17,200	0.5%増
当期純利益	△1,606	3,293	2,959	3,355	13.4%増	10,100	7.6%減	10,900	0.3%減

12年3月期 第2四半期 連結業績(実績)

【売上高】 国内新医薬品では製品普及の最大化を推進し、処方数量の増加、売上拡大に努めましたが、平成23年3月に発生した震災による流通在庫増加の影響により、前年に対し若干の増加に留まり、海外新医薬品では前年を下回る実績となりました。その結果、連結売上高は464億円(前年比0.7%減)となりました。

【利益】 売上高は減少しましたが、売上原価率の低下により売上総利益は増加し、研究開発費の減少(前年比11.7%減)等により、営業利益は49億円(前年比16.6%増)、四半期純利益は34億円(前年比13.4%増)となりました。

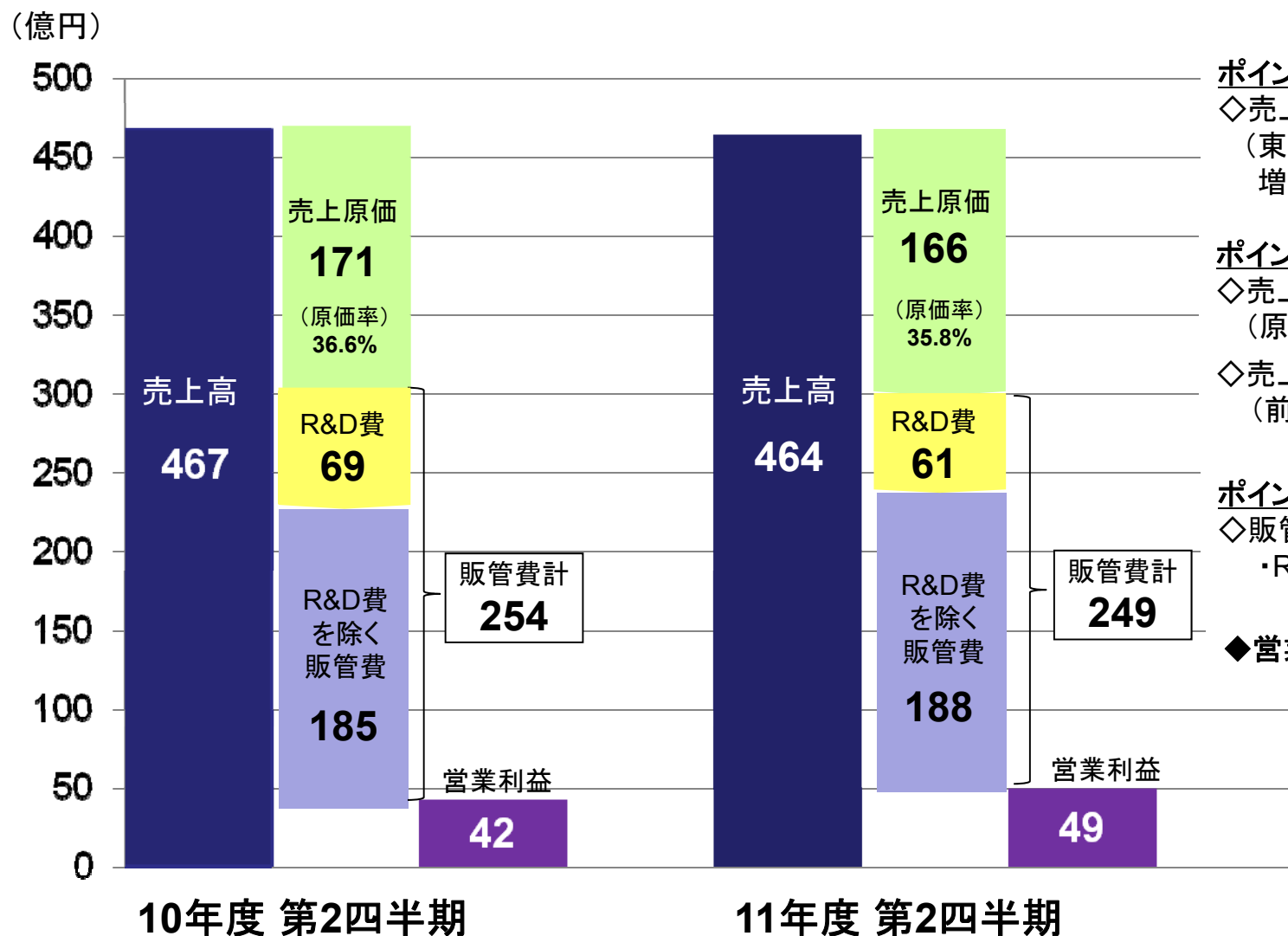
12年3月期 連結業績(予想)

【売上高】 第2四半期連結累計期間の業績の状況を勘案し、12年3月期の売上高は1,051億円(前年比1.0%増)を見込みます。

【利益】 開発パイプラインの充実に向け、新薬開発を強力に推し進め、研究開発費が前回予想を8億円上回る見通しとなり、営業利益は149億円(前年比9.4%減)、当期純利益は101億円(前年比7.6%減)となる見込みです。

◇当第2四半期連結累計期間の業績を勘案し、平成23年5月11日付け「平成23年3月期 決算短信」にて公表しました平成24年3月期の連結業績予想を上記の通り修正しました

2012年3月期 第2四半期 業績のポイント



ポイント①

◇売上高は前年比3億円減
(東日本大震災による流通在庫増加の影響あり)

ポイント②

◇売上原価は5億円減少
(原価率0.8ポイント低下)
◇売上総利益は増加
(前年比2億円増)

ポイント③

◇販管費は減少(前年比5億円減)
・R&D費は前年比8億円減
◆営業利益は前年比7億円増

2012年3月期 第2四半期

業績の状況(対前年)



(単位: 億円)

	11年3月期 第2四半期 (実績)	12年3月期 第2四半期 (実績)	対前年
売上高(合計)	467	464	△3
医薬品事業	454	452	△2
◆新医薬品	392	391	△1
○国内	377	381	+4
○海外	15	10	△5
◆後発医薬品	41	41	△0
◆一般用医薬品他	20	20	△0
ヘルスケア事業 (スキンケア)	13	12	△1
営業利益	42	49	+7
経常利益	45	53	+8
四半期純利益	30	34	+4

				対前年
■売上高	464億円			(△ 3)
◆医薬品事業	452億円			(△ 2)
●国内新医薬品	381億円			(+ 4)
		11.3(2Q)実績	12.3(2Q)実績	
・キプレス		141	⇒ 157	(+16)
・ムコダイン		94	⇒ 91	(△ 3)
・ペンタサ		99	⇒ 91	(△ 8)
・ウリトス		24	⇒ 29	(+ 5)
●海外新医薬品	10億円			(△ 5)
・ガチフロキサシン		13	⇒ 8	(△ 5)
●後発医薬品	41億円			(△ 0)
・後発品市場の拡大がゆるやかになる中で、前年同期に対し横ばいで推移				
●一般用医薬品他	20億円			(△ 0)
◆ヘルスケア事業	12億円			(△ 1)
●ドクタープログラムの売上減少				(△ 1)
■営業利益	49億円			(+ 7)
◆営業利益率は10.6%と1.6ポイント上昇				
●原価率: 前年比0.8ポイント低下 (36.6%⇒35.8%)				
原価率の低い自社製品の売上増、工場稼働率の向上、製造費の減少等				
●研究開発費率: 前年比1.6ポイント低下 (14.7%⇒13.1%)				
* 69億円⇒61億円(約8億円減少)				
(前期はKRP-108Ph2b終了等の費用が発生)				
●販管費率(除R&D費): 前年比0.8ポイント上昇 (39.7%⇒40.5%)				
* 185億円⇒188億円(約3億円増加)				
■四半期純利益	34億円			(+ 4)
◆配当(第2四半期末)	10円00銭			

2012年3月期 第2四半期

業績の状況(対予想)



(単位: 億円)

	12年3月期 第2四半期 (予想)	12年3月期 第2四半期 (実績)	対予想
売上高(合計)	492	464	△28
医薬品事業	478	452	△26
◆新医薬品	412	391	△21
○国内	399	381	△18
○海外	13	10	△3
◆後発医薬品	46	41	△5
◆一般用医薬品他	20	20	△0
ヘルスケア事業 (スキンケア)	14	12	△2
営業利益	61	49	△12
経常利益	64	53	△11
四半期純利益	40	34	△6

		対予想	
■売上高	464億円	(△28)	
◆医薬品事業	452億円	(△26)	
●国内新医薬品	381億円	(△18)	
* 震災の影響により主要製品の売上未達			
	12.3(2Q)予想	12.3(2Q)実績	
・キプレス	162	⇒ 157	(△ 5)
・ムコダイン	97	⇒ 91	(△ 6)
・ペンタサ	97	⇒ 91	(△ 6)
・ウリトス	30	⇒ 29	(△ 1)
●海外新医薬品	10億円	(△3)	
・ガチフロキサシン	11	⇒ 8	(△ 3)
●後発医薬品	41億円	(△5)	
* キョーリンリメディオの売上が未達			
◆ヘルスケア事業	12億円	(△2)	
●ドクタープログラムの売上が未達		(△2)	
■営業利益	49億円	(△12)	
● R&D費およびR&D費を除く販管費の圧縮に努め、営業利益の減少を抑制			
* R&D費: 予想65億円⇒実績61億円(△4億円)			
■四半期純利益	34億円	(△6)	

2012年3月期 第2四半期 主要製品売上の状況

(単位:億円)

		09年3月期 第2四半期	10年3月期 第2四半期	11年3月期 第2四半期	12年3月期 第2四半期		11年3月期	12年3月期 (修正予想)	12年3月期 (当初予想)
					実績	前 同 比			
国内 新医薬品	キプレス (ロイコトリエン受容体拮抗剤)	104	127	141	157	11.5%増	345	367	365
	ムコダイン (去痰剤)	87	93	94	91	3.4%減	213	213	221
	ペンタサ (潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤)	71	97	99	91	7.3%減	194	186	192
	ウリス(自社販売) (過活動膀胱治療剤)	6	16	24	29	21.4%増	55	66	66
	ケタス (気管支喘息・脳血管障害治療剤)	26	23	20	18	10.8%減	40	35	38
海外 新医薬品	ガチフロキサシン (バルク・ロイヤルティ含む)	14	11	13	8	38.4%減	22	17	12
一般用 医薬品	ミルトン (哺乳ビン・乳首消毒剤)	9	10	9	9	0.3%増	19	20	20

主な子会社の業績と予想

(単位:億円)

杏林製薬	2011年3月期 第2四半期	2012年3月期 第2四半期
売上高	408	418
営業利益	39	47
当期純利益	29	34

2011年3月期	2012年3月期 (修正予想)
925	947
156	142
107	99

2012年3月期 (当初予想)
951
157
104

キョーリン リメディオ	2011年3月期 第2四半期 ※	2012年3月期 第2四半期
売上高	52	46
営業利益	4	2
当期純利益	4	2

2011年3月期	2012年3月期 (修正予想)
103	105
8	6
6	5

2012年3月期 (当初予想)
110
7
7

ドクタープログラム	2011年3月期 第2四半期	2012年3月期 第2四半期
売上高	13	12
営業利益	0	0
当期純利益	0	0

2011年3月期	2012年3月期 (修正予想)
28	28
1	1
1	1

2012年3月期 (当初予想)
30
1
0

※卸店販売ルート of 杏林製薬(株)への統合に伴い、初期在庫分として約6億円を売上計上しています

2012年3月期 第2四半期 業績と予想(連結)

(単位:百万円)

	11年3月期 第2四半期	12年3月期 第2四半期	前年差額	前年比	11年3月期	12年3月期 (修正予想)	12年3月期 (当初予想)
売上高	46,707	46,387	△320	0.7%減	104,069	105,100	106,500
医薬品事業	45,373	45,155	△218	0.5%減	101,271	102,200	103,500
◆新医薬品	39,208	39,098	△110	0.3%減	88,020	88,300	88,900
○国内	37,708	38,129	+421	1.1%増	85,284	86,200	87,100
○海外	1,500	968	△532	35.4%減	2,736	2,100	1,700
◆後発医薬品	4,115	4,097	△18	0.4%減	8,871	9,700	10,300
◆一般用医薬品他	2,049	1,959	△90	4.4%減	4,378	4,200	4,300
ヘルスケア事業	1,333	1,232	△101	7.6%減	2,797	2,800	3,000
営業利益	4,201	4,900	+699	16.7%増	16,443	14,900	16,600
経常利益	4,542	5,253	+711	15.7%増	17,110	15,600	17,200
当期純利益	2,959	3,355	+396	13.4%増	10,927	10,100	10,900

研究開発費・設備投資・減価償却費の状況<連結>第2四半期

(単位:百万円)

	09年3月期 第2四半期	10年3月期 第2四半期	11年3月期 第2四半期	12年3月期 第2四半期	増減比	11年3月期	12年3月期 (修正予想)	12年3月期 (当初予想)
研究開発費	4,968	5,670	6,879	6,075	11.7%減	12,495	14,200	13,400
設備投資 (計上ベース)	1,115	709	633	402	36.5%減	1,668	2,700	2,500
減価償却費	2,028	1,362	1,163	1,122	3.6%減	2,458	2,600	2,700

<設備投資の状況(実績/計画)>

(単位:億円)

	11年3月期	12年3月期 第2四半期	12年3月期 (修正予想)	12年3月期 (当初予想)
(実績)				
工場設備	9億円	1億円		
管理・販売設備	3億円	1億円		
研究用設備	5億円	2億円		
(実績/計画)				
工場設備			13億円	13億円
管理・販売設備			8億円	7億円
研究用設備			6億円	5億円

開発品一覧①(2011年11月8日現在)

Ph II b ~ 申請中

開発段階		製品名・ 開発コード	薬効	起源	特徴	備考
国内	海外					
Ph III (09年12月)		ペンタサ (錠剤)	潰瘍性大腸炎	スイス フェリング社	寛解期潰瘍性大腸炎を対象とした新用法・用量 (1日1回投与)	
Ph III (10年11月)		ペンタサ (坐剤)	潰瘍性大腸炎	スイス フェリング社	活動期潰瘍性大腸炎を対象とした新剤型 (1日1回投与)	新剤型の開発
Ph III (10年8月)	(アメリカ) スカイファーマ : 申請中(09年3月) (欧州) ムンディファーマ : 申請中(10年3月)	KRP-108 (吸入剤)	気管支喘息 治療剤	イギリス スカイファーマ社	ステロイド及び長時間作用型β作動薬の配合剤で 利便性やコンプライアンスに優れる	・スカイファーマ社とライセンス 契約(08年4月) ・国内Ph II 終了(10年4月)
Ph II (08年2月)	Ph II (07年9月)	KRP-104	糖尿病治療剤	自社	DPPIV阻害剤。インスリン分泌ホルモンの分解を 抑えることにより血糖低下作用を示す。副作用の 発現が少ない糖尿病治療が期待される	・海外Ph II b 終了(11年3月) ・国内Ph II b 終了(10年3月)

開発品一覧②(2011年11月8日現在)

POCプロジェクト(前臨床~Ph II)

※: 前回(2012年3月期 7月29日)からの変更点を示す

開発段階		製品名・ 開発コード	薬効	起 源	特 徴	備 考
国内	海外					
Ph I (10年12月)	Ph II (POC) (10年12月) (ノバルティス)	KRP-203	自己免疫疾患、 臓器移植 IBD	自社	S1P受容体アゴニスト。新規メカニズムを有する免疫調整剤。既存の免疫抑制剤に比べて安全性が高く、かつ優れた併用効果が期待される	ノバルティスとライセンス契約(06年2月) 新たなライセンス契約 IBD(10年11月)
	Ph I (10年8月)	KRP-110	オピオイド誘発性便秘 難治性掻痒	自社	選択性の高いμオピオイド受容体拮抗薬。オピオイド鎮痛薬の鎮痛作用には影響することなく、副作用の便秘を改善することが期待される。また、種々の掻痒モデルにおいて掻き行動の抑制作用が確認されており、難治性掻痒の改善が期待される	
Ph II ※ (11年8月)	Ph III メルツ社	KRP-209	耳鳴	ドイツ メルツ社	NMDA受容体拮抗作用及びニコチン作動性アセチルコリン受容体拮抗作用を有し、耳鳴に伴う心理的な苦痛、生活障害の改善が期待される	メルツ社とライセンス契約(09年11月) メルツ社: 日本人を対象とした米国でのPh Iを終了(10年3月)
臨床試験 準備中	(欧州) アルミラール社 : 申請中(11年6月) (アメリカ) フォレスト社 : 申請中(11年7月)	KRP-AB1102 (吸入剤)	慢性閉塞性肺疾患	スペイン アルミラール社	アセチルコリン受容体拮抗作用によりCOPDに伴う呼吸困難、息苦しさなどの諸症状を改善する長時間作用型気管支拡張薬 ①全身性副作用が少ない ②1日2回投与により1日を通じて症状、呼吸機能改善 ③最大効果発現までの時間が短い	アルミラール社とライセンス契約(11年2月)
Ph I ※ (11年8月)		KRP-AM1977X (経口剤)	ニューキノロン系 合成抗菌剤	自社	①薬剤耐性グラム陽性菌(MRSAを含む)に対して優れた抗菌力 ②優れた体内動態(経口吸収、組織移行) ③前臨床試験で安全性はクリアー、高い安全性を期待	
Ph I 準備中		KRP-AM1977Y (注射剤)	ニューキノロン系 合成抗菌剤	自社		

開発品一覧③(2011年11月8日現在)

導出品の状況

開発段階	製品名・ 開発コード	導出先・ 共同研究先	薬効	起源	備考
申請中 (11年3月)	アルファガン/ アルファガンP	千寿製薬(株)	緑内障治療薬	アメリカ アラガン社	・アラガン社より導入 (ガチフロキサシン点眼液のクロスライセンス) ・千寿製薬(株)に導出(04年5月)
海外Ph II (05年8月)	ケタス	アメリカ メディシノバ社	脳血管障害治療薬	自社	・多発性硬化症の適応での日本、中国、韓国、 台湾を除く全世界における独占的な開発、製造 販売権を供与(04年10月) 08年4月 Ph II の結果を公表
海外Ph III (気管支喘息: 06年11月) 海外Ph II / III (間質性膀胱炎: 05年5月)	KCA-757	アメリカ メディシノバ社	気管支喘息治療薬 間質性膀胱炎治療薬	自社	・日本、中国、韓国、台湾を除く全世界に おける独占的な開発、販売権を供与 ・間質性膀胱炎:07年1月に結果を公表、 開発を中断 ・気管支喘息:海外Ph III一旦停止
海外Ph II (POC) (10年12月)	KRP-203	スイス ノバルティス	自己免疫疾患、 臓器移植 IBD	自社	・移植用の免疫調節剤として、全世界の開発及び 販売権、自己免疫疾患及びその他の疾患用剤と して、日本、中国、韓国、台湾を除く全世界の 開発及び販売権(06年2月) 新たなライセンス契約 IBD(10年11月)

参考資料

2012年3月期 第2四半期 セグメント情報

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失

(単位:億円)

	売上高		セグメント利益	
	金額	対前年	金額	対前年
売上高合計	464	△3	49	+7
医薬品事業計	452	△2	48	+8
◆新医薬品	391	△1		
○国内	381	+4		
○海外	10	△5		
◆後発医薬品	41	△0		
◆一般用医薬品他	20	△0		
ヘルスケア事業計	12	△1	0	△0
調整額	—	—	1	△1

(注)「セグメント情報等の開示に関する会計基準」及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」を適用し、報告セグメントは【医薬品事業】【ヘルスケア事業】としております

損益計算書の概要：連結①

(単位：百万円)

	11年3月期 第2四半期		12年3月期 第2四半期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年差額
売上高	46,707	100.0%	46,387	100.0%	0.7%減	△320
医薬品事業	45,373	97.1%	45,155	97.3%	0.5%減	△218
◆新医薬品	39,208	83.9%	39,098	84.3%	0.3%減	△110
○国内	37,708	80.7%	38,129	82.2%	1.1%増	+421
○海外	1,500	3.2%	968	2.1%	35.4%減	△532
◆後発医薬品	4,115	8.8%	4,097	8.8%	0.4%減	△18
◆一般用医薬品他	2,049	4.4%	1,959	4.2%	4.4%減	△90
ヘルスケア事業	1,333	2.9%	1,232	2.7%	7.6%減	△101

<当期のポイント>

		対前年
■ 売上高	46,387百万円	(△320百万円)
●国内新医薬品	38,129百万円	(+421百万円)
	前期実績	当期実績 (億円)
・キプレス	141	→ 157 (+16)
・ムコダイン	94	→ 91 (△3)
・ペンタサ	99	→ 91 (△8)
・ウリトス	24	→ 29 (+5)
●海外新医薬品	968百万円	(△532百万円)
・ガチフロキサシン	13	→ 8 (△5)
●後発医薬品	4,097百万円	(△18百万円)
	* 後発品市場の拡大がゆるやかになる中で、前年同期に対し横ばいで推移	
●一般用医薬品等	1,959百万円	(△90百万円)
	* キョーリンメディカルサプライの売上減	
●ヘルスケア	1,232百万円	(△101百万円)
	* ドクタープログラムの売上減	

<適応範囲及び持分法の適用について>

連結子会社7社：杏林製薬(株)
 Kyorin USA, Inc. Kyorin Europe GmbH
 ActivX Biosciences, Inc.
 キョーリンリメディオ(株)
 キョーリンメディカルサプライ(株)
 ドクタープログラム(株)
 持分法適用会社1社：日本理化学薬品(株)

損益計算書の概要：連結一②

(単位：百万円)

	11年3月期 第2四半期		12年3月期 第2四半期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年差額
売上高	46,707	100.0%	46,387	100.0%	0.7%減	△320
売上原価	17,083	36.6%	16,611	35.8%	2.8%減	△472
売上総利益	29,623	63.4%	29,776	64.2%	0.5%増	+152
販売費及び一般管理費 (うち研究費)	25,422 (6,879)	54.4% 14.7%	24,875 (6,075)	53.6% 13.1%	2.2%減 11.7%減	△547 △803
営業利益	4,201	9.0%	4,900	10.6%	16.6%増	+699
営業外収益	389	0.8%	403	0.9%	3.6%増	+14
営業外費用	47	0.1%	50	0.1%	5.8%増	+2
経常利益	4,542	9.7%	5,253	11.3%	15.7%増	+710
特別利益	25	0.1%	3	0.0%	86.1%減	△21
特別損失	11	0.0%	16	0.0%	41.4%増	+4
税金等調整前 四半期純利益	4,556	9.8%	5,240	11.3%	15.0%増	+684
法人税・住民税 及び事業税	1,405	3.0%	1,860	4.0%	32.4%増	+454
法人税等調整額	191	0.4%	24	0.1%	87.1%減	△166
四半期純利益	2,959	6.3%	3,355	7.2%	13.4%増	+396

<当期のポイント>

◆原価率：前年比0.8ポイント低下
(36.6%→35.8%)

* 原価率の低い自社製品の売上増、工場稼働率の向上、製造費の減少等

◆研究開発費率：前年比1.6ポイント低下
(14.7%→13.1%)

* 69億円→61億円(約8億円減少)
(前期はKRP-108Ph2b終了等の費用が発生)

◆販管費率(除R&D費)：前年比0.8ポイント上昇
(39.7%→40.5%)

* 185億円→188億円(3億円増加)

■営業利益 4,900百万円 (+699百万円)

* 営業利益率は10.6%と1.6ポイント上昇

■四半期純利益 3,355百万円 (+396百万円)

■配当(第2四半期末) 10円00銭

貸借対照表の概要：連結

(単位：百万円)

	11年3月期末	
	実績	構成比
流動資産	104,427	70.9%
現金及び預金	25,518	—
受取手形及び売掛金	42,594	
有価証券	6,976	
棚卸資産	20,364	
その他流動資産	8,973	
固定資産	42,806	29.1%
有形固定資産	14,916	—
無形固定資産	816	
投資その他	27,073	
資産合計	147,234	100.0%

流動負債	30,421	20.7%
支払手形及び買掛金	10,852	—
その他流動負債	19,569	
固定負債	5,105	3.5%
負債合計	35,527	24.1%
株主資本	112,076	76.1%
その他の包括利益累計額	△370	△0.3%
その他有価証券評価差額金	△137	—
為替換算調整勘定	△232	
純資産合計	111,706	75.9%
負債及び純資産合計	147,234	100.0%

12年3月期 第2四半期末		
実績	構成比	前期末増減
95,610	69.1%	△8,817
23,311	—	—
33,583		
8,872		
22,578		
7,262		
42,830	30.9%	23
14,261	—	—
713		
27,855		
138,440	100.0%	△8,793

21,143	15.3%	△9,278
7,856	—	—
13,286		
4,579	3.3%	△526
25,723	18.6%	△9,804
112,808	81.5%	731
△90	△0.1%	279
144	—	—
△234		
112,717	81.4%	1,011
138,440	100.0%	△8,793

<当期のポイント>

■ 流動資産：8,817百万円減

- ・現金及び預金の減少 (2,206百万円減)
- ・受取手形及び売掛金の減少 (9,010百万円減)
- ・有価証券の増加 (1,896百万円増)
- ・棚卸資産の増加 (2,213百万円増)
- ・その他流動資産の減少 (1,710百万円減)

■ 固定資産：23百万円増

- ・有形固定資産の減少 (654百万円減)
- ・無形固定資産の減少 (102百万円減)
- ・投資その他の増加 (781百万円増)

■ 流動負債：9,278百万円減

- ・支払手形及び買掛金の減少 (2,995百万円減)
- ・その他流動負債の減少 (6,283百万円減)

■ 固定負債：526百万円減

主な業績項目の推移：連結

(単位:百万円)

	10年3月期 第2四半期	11年3月期 第2四半期	12年3月期 第2四半期
売上高 (輸出高)	45,714 (1,305)	46,707 (1,500)	46,387 (968)
売上原価 (売上原価率)%	17,035 (37.3%)	17,083 (36.6%)	16,611 (35.8%)
販売費及び一般管理費 (販管费率)%	24,109 (52.7%)	25,422 (54.4%)	24,875 (53.6%)
うち研究開発費 (研究開発费率)%	5,670 (12.4%)	6,879 (14.7%)	6,075 (13.1%)
営業利益 (営業利益率)%	4,569 (10.0%)	4,201 (9.0%)	4,900 (10.6%)
経常利益 (経常利益率)%	5,172 (11.3%)	4,542 (9.7%)	5,253 (11.3%)
四半期(当期)純利益 (四半期(当期)純利益率)%	3,293 (7.2%)	2,959 (6.3%)	3,355 (7.2%)
一株当たり当期利益(円)	44.05円	39.59円	44.90円
資本金	700	700	700
総資産	127,728	128,541	138,440
純資産	100,024	104,662	112,717
一株当たり純資産(円)	1,338.01円	1,400.35円	1,508.46円
自己資本利益率%	3.3%	2.8%	3.0%
自己資本比率%	78.3%	81.4%	81.4%
人員(人)	2,262人	2,308人	2,332人
設備投資	709	633	402
減価償却費	1,362	1,163	1,122

	11年3月期	12年3月期 (修正予想)
	104,069 (2,784)	105,100 (2,100)
	37,554 (36.1%)	—
	50,071 (48.1%)	—
	12,495 (12.0%)	14,200 (13.5%)
	16,443 (15.8%)	14,900 (14.2%)
	17,110 (16.4%)	15,600 (14.8%)
	10,927 (10.5%)	10,100 (9.6%)
	146.21円	135.16円
	700	
	147,234	
	111,706	
	1,494.83円	
	10.1%	
	75.9%	
	2,294人	
	1,668	2,700
	2,458	2,600

	12年3月期 (当初予想)
	106,500 (1,700)
	—
	—
	13,400 (12.6%)
	16,600 (15.6%)
	17,200 (16.2%)
	10,900 (10.2%)
	145.86円
	2,500
	2,700

損益計算書の概要：杏林製薬①

(単位:百万円)

	11年3月期 第2四半期		12年3月期 第2四半期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年差額
売上高	40,759	100.0%	41,831	100.0%	2.6%増	+1,071
医薬品事業	40,759	100.0%	41,831	100.0%	2.6%増	+1,071
◆新医薬品	39,168	96.1%	39,057	93.4%	0.3%減	△111
○国内	37,708	92.5%	38,129	91.2%	1.1%増	+421
○海外	1,460	3.6%	927	2.2%	36.5%減	△532
◆後発医薬品	290	0.7%	1,487	3.6%	412.4%増	1,197
◆一般用医薬品他	1,300	3.2%	1,285	3.1%	1.1%減	△14

<当期のポイント>

	対前年	
■ 売上高	41,831百万円	(+1,071百万円)
● 国内新医薬品	38,129百万円	(+421百万円)
	前期実績	当期実績 (億円)
・キプレス	141	→ 157 (+16)
・ムコダイン	94	→ 91 (△3)
・ペンタサ	99	→ 91 (△8)
・ウリトス	24	→ 29 (+5)
● 海外新医薬品	927百万円	(△532百万円)
・ガチフロキサシン	13	→ 8 (△5)
● 後発医薬品	1,487百万円	(+1,197百万円)
	・主にキョーリンリメディオ物流統合による影響	
● 一般用医薬品他	1,285百万円	(△14百万円)
・ミルトン	9	→ 9 (+0)

損益計算書の概要：杏林製薬一②

(単位:百万円)

	11年3月期 第2四半期		12年3月期 第2四半期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年差額
売上高	40,759	100.0%	41,831	100.0%	2.6%増	+1,071
売上原価	13,521	33.2%	14,383	34.4%	6.4%増	+861
売上総利益	27,237	66.8%	27,447	65.6%	0.8%増	+210
販売費及び一般管理費 (うち研究費)	23,359 (6,496)	57.3% 15.9%	22,735 (5,762)	54.4% 13.8%	2.7%減 11.3%減	△623 △733
営業利益	3,878	9.5%	4,712	11.3%	21.5%増	+834
営業外収益	586	1.4%	599	1.4%	2.2%増	+12
営業外費用	21	0.1%	29	0.1%	35.3%増	+7
経常利益	4,443	10.9%	5,282	12.6%	18.9%増	+839
特別利益	7	0.0%	3	0.0%	54.2%減	△4
特別損失	10	0.0%	7	0.0%	27.1%減	△2
税引前四半期純利益	4,440	10.9%	5,278	12.6%	18.9%増	+837
法人税・住民税 及び事業税	1,372	3.4%	1,830	4.4%	33.4%増	+458
法人税等調整額	159	0.4%	33	0.1%	78.9%減	△125
四半期純利益	2,908	7.1%	3,414	8.2%	17.4%増	+505

＜当期のポイント＞

◆原価率：前年比 1.2ポイント上昇
(33.2%→34.4%)

* 上昇要因：キョーリンリメディオの物流統合
* 低下要因：原価率の低い自社製品の売上増、工場稼働率の向上、製造費の減少等

◆研究開発費率：前年比 2.1ポイント低下
(15.9%→13.8%)

* 65億円→58億円（約7億円減少）
減少要因：（前期はKRP-108Ph2b終了等の費用が発生）

◆販管費率(除R&D費)：前年比0.8ポイント低下
(41.4%→40.6%)

* 169億円→170億円（約1億円増加）

■営業利益 4,712百万円（+834百万円）

* 営業利益率は11.3%と1.8ポイント上昇

■四半期純利益 3,414百万円（+505百万円）

貸借対照表の概要：杏林製薬

(単位:百万円)

	11年3月期末	
	実績	構成比
流動資産	84,458	68.9%
現金及び預金	15,123	
売掛金	39,184	
有価証券	6,913	—
棚卸資産	16,739	
その他流動資産	6,498	
固定資産	38,202	31.1%
有形固定資産	11,894	
無形固定資産	235	—
投資その他	26,073	
資産合計	122,661	100.0%

流動負債	22,723	18.5%
支払手形及び買掛金	7,050	
その他流動負債	15,673	—
固定負債	4,364	3.6%
負債合計	27,087	22.1%
株主資本	95,719	78.0%
評価・換算差額等	△146	△0.1%
純資産合計	95,573	77.9%
負債及び純資産合計	122,661	100.0%

12年3月期 第2四半期末		
実績	構成比	前期末増減
76,500	66.5%	△7,957
11,516		
31,046		
8,810	—	—
18,814		
6,313		
38,508	33.5%	305
11,376		
251	—	—
26,879		
115,008	100.0%	△7,652

14,540	12.6%	△8,183
5,210		
9,329	—	—
3,793	3.3%	△570
18,334	15.9%	△8,753
96,534	83.9%	814
140	0.1%	286
96,674	84.1%	1,101
115,008	100.0%	△7,652

<当期のポイント>

■流動資産：7,957百万円減

- ・現金及び預金の減少 (3,606百万円減)
- ・売掛金の減少 (8,138百万円減)
- ・有価証券の増加 (1,896百万円増)
- ・棚卸資産の増加 (2,075百万円増)

■固定資産：305百万円増

- ・有形固定資産の減少 (517百万円減)
- ・無形固定資産の増加 (16百万円増)
- ・投資その他の増加 (806百万円増)

■流動負債：8,183百万円減

- ・支払手形及び買掛金の減少 (1,839百万円減)
- ・その他流動負債の減少 (6,343百万円減)

■固定負債：570百万円減

主な業績項目の推移: 杏林製薬

(単位:百万円)

	10年3月期 第2四半期	11年3月期 第2四半期	12年3月期 第2四半期
売上高 (輸出高)	39,545 (1,264)	40,759 (1,460)	41,831 (927)
売上原価 (売上原価率)%	13,183 (33.3%)	13,521 (33.2%)	14,383 (34.4%)
販売費及び一般管理費 (販管费率)%	21,603 (54.6%)	23,359 (57.3%)	22,735 (54.4%)
うち研究開発費 (研究開発费率)%	5,388 (13.6%)	6,496 (15.9%)	5,762 (13.8%)
営業利益 (営業利益率)%	4,757 (12.0%)	3,878 (9.5%)	4,712 (11.3%)
経常利益 (経常利益率)%	5,669 (14.3%)	4,443 (10.9%)	5,282 (12.6%)
四半期(当期)純利益 (四半期(当期)純利益率)%	3,816 (9.6%)	2,908 (7.1%)	3,414 (8.2%)
一株当たり当期利益(円)	51.38円	39.17円	45.97円
資本金	4,317	4,317	4,317
総資産	110,669	109,313	115,008
純資産	90,466	93,044	96,674
一株当たり純資産(円)	1,218.11円	1,252.82円	1,301.70円
自己資本利益率%	4.2%	3.1%	3.6%
自己資本比率%	81.7%	85.1%	84.1%
人員(人)	1,733人	1,811人	1,826人
設備投資	624	300	313
減価償却費	1,071	932	841

	11年3月期	12年3月期 (修正予想)	12年3月期 (当初予想)
	92,531 (2,642)	94,700 (1,900)	95,100 (1,600)
	31,227 (33.7%)	—	—
	45,658 (49.3%)	—	—
	11,867 (12.8%)	13,400 (14.1%)	12,500 (13.2%)
	15,645 (16.9%)	14,200 (15.0%)	15,700 (16.5%)
	16,729 (18.1%)	15,300 (16.2%)	16,700 (17.6%)
	10,732 (11.6%)	9,900 (10.5%)	10,400 (10.9%)
	144.51円		
	4,317		
	122,661		
	95,573		
	1,286.87円		
	11.2%		
	77.9%		
	1,804人		
	1,019	1,900	1,700
	1,968	1,900	2,000